


令和8年（2026年）1月14日（水）15時00分配布

項目	オホーツク管内指導農業士・農業士会冬期研修会の開催について
配付資料	冬期研修会開催について 制度の概要
内容及び報道に当たったのお願い	<p>○ オホーツク管内指導農業士・農業士会とオホーツク総合振興局では、会員相互の情報交換や資質の向上を図るため、毎年2回、研修会を開催しています。この度、冬期研修会を次のとおり開催しますのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 開催日時 令和8年(2026年)1月21日(水) 13:30~16:30</p> <p>2 開催場所 北ガス市民ホール 小ホール (北見市常盤町2丁目1-10)</p> <p>3 主催 オホーツク管内指導農業士・農業士会 北海道オホーツク総合振興局</p> <p>4 参集範囲 北海道指導農業士、北海道農業士、市町村、農業協同組合ほか</p> <p>5 内容 (1) 基調講演  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うごきまわる植物の根—どうやって土の中の環境を理解している？」 講師 北見工業大学 オホーツク農林水産工学連携研究推進センター (CAFFE) 農業連携担当 陽川 憲 氏</li> <li>・「いつでも播種できる種子コーティングの開発」 講師 北見工業大学 オホーツク農林水産工学連携研究推進センター (CAFFE) 副センター長 (農業連携担当) 浪越 毅 氏</li> </ul> (2) 情報提供</p>
他のクラブとの関係	
担当窓口	<p>オホーツク総合振興局産業振興部農務課 農務課主幹 小堀 秀頭 直通電話 0152-67-5032 (内線2703) 農業経営係 主任 川上 樹 直通電話 0152-41-0664 (内線2724)</p> <div style="text-align: right;">  </div>

# 令和8年度オホーツク管内指導農業士・農業士 冬期研修会開催について

## 1 目的

北海道指導農業士認定要綱第6及び北海道農業士認定要領第9の規定に基づき、管内の指導農業士及び農業士の一層の資質向上を図り、その活動を助長するため、冬期研修会を開催する。

## 2 主催

オホーツク管内指導農業士・農業士会、北海道オホーツク総合振興局

## 3 日時

令和8年（2026年）1月21日（水）13：30～16：30

※受付は13:00から

## 4 場所

研修会・総会：北ガス市民ホール 小ホール  
（北見市常盤町2丁目1-10）

情報交換会：オホーツクビアファクトリー  
（北見市山下町2丁目2-2）

## 5 開催内容

### （1）基調講演

- ・「うごきまわる植物の根—どうやって土の中の環境を理解している？」

講師：北見工業大学 オホーツク農林水産工学連携研究推進センター（CAFFE）  
農業連携担当 陽川 憲 氏

- ・「いつでも播種できる種子コーティングの開発」

講師：北見工業大学 オホーツク農林水産工学連携研究推進センター（CAFFE）  
副センター長（農業連携担当） 浪越 毅 氏

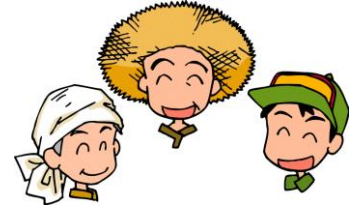
### （2）情報提供

## 6 研修会タイムテーブル（予定）

時間	内容
13：00～13：30	受付
13：30～13：40	開 会（挨拶 多田会長）
13：40～14：40	基調講演1
14：50～15：50	基調講演2
16：00～16：20	振興局からの情報提供
16：20～16：30	閉 会（挨拶 柳谷副会長）

# 北海道指導農業士制度の概要

北海道指導農業士制度は、昭和46年に創設され、令和6年度末時点で、全道で1,258名、管内で171名の方が指導農業士の認定を受けられ、農業研修生等の受入れや、地域農業の牽引役として活躍されています。また、令和6年度はオホーツク管内で新たに9名の方が認定されました。(参考：令和6年度実人数は全道で1,007名、管内で137名)



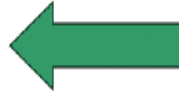
## ◇指導農業士とは

地域農業を維持・発展させ、農村社会を活性化するためには、新規就農希望者を積極的に受入れ育てていくことが大切です。このため、地域においては就農希望者に対し実践的な研修を行い新たな農業者の育成に尽力されている方々がいます。

道としては、このような農業者の方を「北海道指導農業士」として認定するとともに、その活動を応援することとしています。

### 【期待される役割】

- 1 次代の農業の担い手になろうとする者の受入れ及び指導
- 2 農村青少年及びこれらで組織するグループに対する助言、指導
- 3 地域農業の振興、農村生活の向上に関する助言、協力



次代を担う農業青年等を育成

# 北海道農業士制度の概要

北海道農業士制度は、昭和49年に創設され、令和6年度末時点で、全道で2,104名、管内で330名の方が農業士の認定を受けられ、地域農業の若いリーダーとして活躍されています。

また、令和6年度はオホーツク管内で新たに13名の方が認定されました。(参考：令和6年度実人数は全道で1,518名、管内で240名)



## ◇農業士とは

農業を取り巻く環境は、農業技術の進歩や国際化の流れなど、大きく変化している現状にあり、農業経営や農村生活についての知識や技術を習得することが重要となっています。

このことから、地域農業の担い手として経営改善や地域農業の振興、新規就農者に対する助言などに積極的・意欲的に活躍される農業者の方を「北海道農業士」として認定するとともに、その活動を応援することとしています。

### 【期待される役割】

- 1 新規就農者に対する助言
- 2 経営改善や地域農業の振興に関する協力



# オホーツク管内指導農業士・農業士会の概要

「オホーツク管内指導農業士・農業士会」は、オホーツク総合振興局管内に在住する指導農業士及び農業士の認定を受けた方々で組織された会です。

会では、会員相互の連携や研さん等を目的として、年に2回の研修会を開催しています。

○会長 多田智弘(湧別町/指導農業士)

○副会長 柳谷克彦(清里町/指導農業士)、大内淳一(大空町/農業士)

### 【令和7年の活動】

〈夏期研修会〉(R7.6月)現地研修会(遠湧地区)

〈冬期研修会〉(R8.1月)研修会・総会(北見地区)